

協働のまちづくりネットワークみどり環境Group
「みよしグリーンサポート隊」活動シート No.133

- 1 日 時 令和5年1月22日(日曜日) 9:00~12:00
- 2 活動場所 トラスト14号地(県有地) D地区
- 3 集合場所 役場運動グラウンド東(緑地公園前)
- 4 活動目的 明るく安全な景観林に
- 5 活動内容 落ち葉堆肥で良い畑土壌をつくる
- 6 作業レベル 初級
- 7 担当世話役 原
- 8 道 具 のぼり旗、ヘルメット、マスク、手袋、熊手、運搬用ブルーシート、運搬車、救急箱
- 9 荒天対応 急な雨、又は強風のときは、中断・中止とします
- 10 トイレ着替 芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

- 8:30 受付
- 8:50 世話役・関係者打ち合わせ
- 9:00 集合
- 9:05 開会、出欠確認、作業説明ほか
ストレッチ
- 9:15 作業開始(適宜休憩)
- 11:30 作業終了・用具確認
- 11:40 終了

作業内容

落ち葉掃き
「正木体験農園落葉掃き会」が活動に参加しません。

- ・できるだけ小枝や笹などが混ざらないように熊手で落ち葉を集めて集積してください。
- ・集積された落ち葉をブルーシートに載せて堆肥場へ運んでください。
- ・堆肥場に運んだ落ち葉を踏んで沢山落ち葉を堆肥場におけるようにしてください。
- ・適宜、休憩タイムを取り腰を伸ばしてください。

かつては「農用林」であり、「経済林」だったが、今や「非農用林」、「非経済林」に

○三芳町の平地林(ヤマ)は、開拓の時、ナラやクヌギを植え15~20年サイクルで伐採更新を繰り返して手入れをしてきた人工林であった。

○ヤマは、堆肥の元となる落ち葉と、昭和30年代後半に電気製品や家庭ガスなどが普及するまでは生活に必要な燃料源として薪の供給源であった。

○薪づくりはヤマの所有者が自ら行うのではなく、山師や木切りと呼ばれた職業集団により行なわれていた。ヤマの所有者は木を販売することで貴重な現金収入を得ることが出来た。

○山師とは、薪として切り出せそうなヤマの持ち主と交渉して、ヤマの木を薪に仕上げ売り捌く職業であり、木切り(柵り)とは、山師の取引したヤマに入って 伐木に携わる技術職人でありこの薪づくり作業は冬場の農閑期に行われた。

以上は、「みよし歴史探訪」より抜粋

令和5年度 みよしグリーンサポート隊活動予定日

【定例活動】第3日曜日 ※雨天の場合順延または中止

4月16日	活動後総会予定	10月15日	整備活動
5月21日	整備活動	11月19日	整備活動
6月18日	唐沢林整備活動	12月17日	落ち葉掃きの準備
7月23日	軽作業・交流会	1月21日	落ち葉掃き活動
注意:第4日曜日		2月	休会
8月	休会	3月17日	整備活動

9月10日 整備活動

注意:第2日曜日

※第3日曜日が連休の場合には、第2・4日曜日活動を振り替えます。

【刈込隊活動】第2・4水曜日 ※雨天の場合は中止

4月	12日・26日	10月	11日・25日
5月	10日・24日	11月	8日・22日
6月	14日・28日	12月	13日・27日
7月	12日・26日	1月	10日・24日
8月	9日・23日	2月	14日・28日
9月	13日・27日	3月	13日・27日

○上記の予定日は、変更になることがあります。
定例活動日については、事前に活動案内をメールまたは郵送しますので、活動案内で日程の確認をお願いします。

次回活動

日 時 令和5年3月19日(日)
午前9時~正午頃まで
場 所 トラスト私有地A地区、県有地C地区
内 容 林内整備
(2月の活動はお休みです)